基礎看護学

専門分野　　（令和４年度１年生用）

授業科目	療養生活援助技術 Ⅰ	講師	氏名	①清水京子 ②西岡加代子	開講年次	単位・時間
			所属	①②専任教員	１年次 前期	１単位 30時間
			実務経験	臨床看護師		

科目のねらい	人々が環境条件を整えることは、それぞれの健康の保持・増進・回復を助けている。特に健康障害のある人に対しては、特殊な条件を考慮し生活環境を整えることが必要とされている。また、看護師は絶えず感染の可能性と相対していること、同時に多くの易感染者を対象としていることをよく理解し感染予防の意義と、その予防対策として、スタンダードプリコーションの基本を学ぶ。また、様々な援助場面に必要なボディメカニクスの理論、知識を学び、さらにボディメカニクスを活用した移乗・移送技術を修得する。ここでは、患者の安全・安楽を維持する為の看護技術を学ぶ。
到達目標	
知識・技術	１．人間を取り巻く環境・生活環境の意義について説明できる。 ２．対象に応じた環境整備ができる感染予防の意義・目的を説明できる。 ３．感染予防の意義・目的を説明できる。 ４．スタンダードプリコーションを説明できる。 ５．スタンダードプリコーションに基づいた感染予防対策ができる。 ６．ボディメカニクスの理論、知識を説明できる。 ７．ボディメカニクスを活用し対象の移乗・移送ができる。
思考・判断・表現	１．演習で学んだ技術を様々な対象者（小児期、老年期）を想定し、対象に応じた援助技術を考えることができる。 ２．演習で学んだ技術を様々な健康障害を持つ対象を想定し、対象に応じた援助技術を考えることができる。
主体的学習態度	１．演習前後に自己練習ができる。 ２．エビデンスをもって、援助技術を計画、実施、評価できる。 ３．主体的に学習ポートフォリオに蓄積させ、講義終了後に蓄積された成果物を更に凝集させ、オリジナルなものにまとめ提出できる。 ４．主体的に教員に指導を受けるためのアプローチができ、常に技術修得に向けた行動がとれる。
科目評価	①定期試験(実技）80%　　ポートフォリオ20%　合計100% ②定期試験（筆記）100% ①②ともに合格した者を単位取得とする。
テキスト	ナーシング・グラフィカ 基礎看護学③　基礎看護技術　　（メディカ出版） 系統別看護学講座　基礎看護学②　　基礎看護技術Ⅰ　（医学書院） 系統別看護学講座　基礎看護学③　　基礎看護学技術Ⅱ　（医学書院）
参考文献	看護技術プラクティス　　（Gakken） 写真でわかる基礎看護技術アドバンス　（インターメディカ）

回数	教育内容	教育方法 講義	演習	到達レベル	その他	講師	関連科目	留意事項
1	１．感染予防技術 １）スタンダードプリコーション （標準予防策） ２）スタンダードプリコーションに 基づく手洗い方法 ３）ガウンの種類	○		Ⅰ		清水京子		テキストに提示しているQRコードから動画を視聴し、演習に臨む。 演習時は白衣着用、アーツルーム 演習後は事後学習をポートフォリオに追加する。 事前課題 スタンダードプリコーション
2	4）手洗いの実施 必要な防護用具（手袋、ゴーグル、ガウン、フェイスシールド等）の選択・着脱		○	Ⅰ				事前課題 スタンダードプリコーションに基づく手洗い
3	5）使用した器具・用具（膿盆・ワゴン・鑷子・トレイなど）の感染防止の取り扱い 感染性廃棄物の取り扱い 誤認防止対策	○	○	Ⅰ				事前課題 感染性廃棄物 誤認防止
4	２．快適な療養環境の整備 １）病室・病床環境 ベッドの構造 プライバシー 快適な病床環境の整備	○		Ⅰ				事前課題 快適な療養環境について 病室・病床・室温・湿度照明
5	２）安全な療養環境の整備 （転倒・転落・外傷予防） ３）環境整備	○		Ⅰ				
6	３．活動・休息援助技術 ボディメカニクス	○	○	Ⅰ				
7	歩行・移動介助 体位変換・保持	○	○	Ⅰ				
8	自動・多動運動の援助							
9	基本的なベッドメーキング	○	○	Ⅰ				事前課題 ベッドメーキング
10								
11	４．移乗・移送介助 車椅子・ストレッチャーの構造と機能	○	○	Ⅰ		西岡加代子		
12	1)移乗・移送介助	○	○	Ⅰ				
13	2)車椅子・ストレッチャーの 移乗・移送の援助技術							
14	まとめ （臥床患者のリネン交換）		○	Ⅰ		京清子水		講義終了後にポートフォリオ提出
15								

備考	臨床(病院)での看護師の実務経験をふまえ、臨床に則した授業・演習を行います。